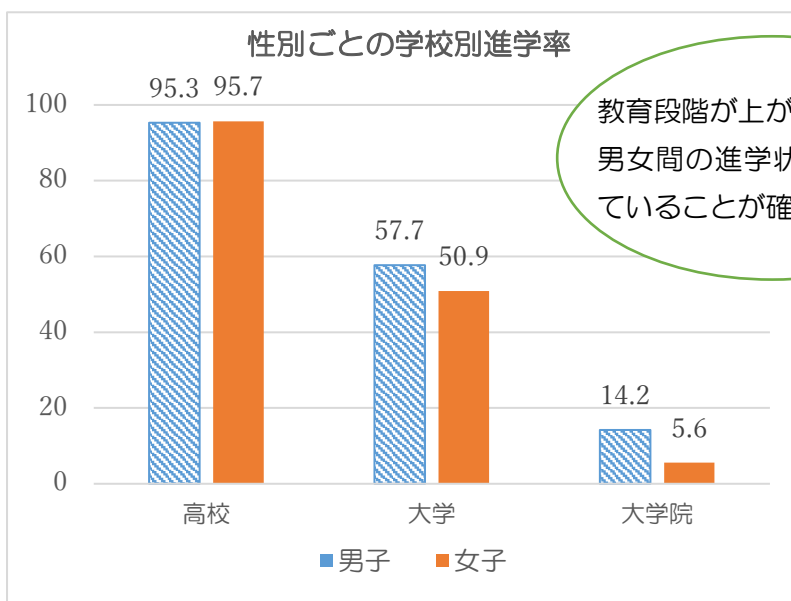




性別による進路選択の違い

年度末が近づき、受験生は追い込みの時期になっていますね。受験生でなくても、試験が迫っているという学生の方もいると思います。

今月は、「性別によって進路選択が変わってくるのか」。全国のデータなどから、その実態について特集します。



教育段階が上がるにつれて、男女間の進学状況に差が出ていることが確認できます。



「女子は大学院に行かなくてもいい」「男子は理系、女子は文系」と言った、性別による決めつけが残念ながらまだ残っています。

大切なのは自分の興味のある進路や、将来何になりたいのかという自分の意思です。周囲も、地域の慣習や思い込みを押し付けず、本人の気持ちを十分尊重できるといいですね。

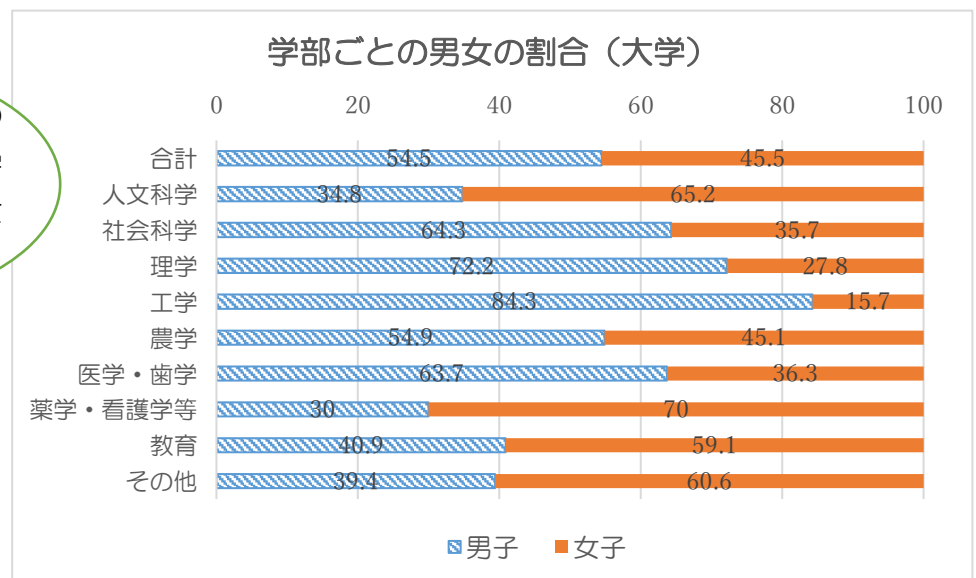
R2 年度「学校基本統計」より作成



工学部、理学部は特に男子の割合が多いですね。逆に薬学や看護学部、人文科学では女子が多数を占めています。



「理工チャレンジ」イメージキャラクター リコちゃん



R2 年度「学校基本統計」より作成

女性センターの風景よい・・・part2



知る人ぞ知る、女性センターの図書コーナー。

ジェンダーや男女共同参画、コミュニケーションなどの本を中心に約2500点の本を置いています。絵本や児童図書もありますよ。



今月知っておきたい言葉

ダイバーシティ

「多様性」のこと。集団において、性別や国籍、年齢、宗教などが様々な属性の人が集まった状態のこと。

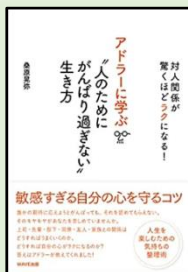
近年では、ダイバーシティに「インクルージョン（包含）」を付け加えた「ダイバーシティ&インクルージョン」という言葉も様々な場面で使われるようになっている。

※出典：「第5次男女共同参画基本計画」他



新着図書のご紹介

上で紹介したとおり、パレア松本には図書コーナーがあります。どなたでも自由に本を読んだり、借りたりすることができます。また今月も2冊ご紹介します。



『アドラーに学ぶ“人のためにがんばり過ぎない”生き方』

（桑原晃弥著、WAVE出版、2019年）

とかく頑張りすぎな日本人。それも他人のために……。そんなあなたがいつの間にか囚われている考え方に、この本がストップをかけてくれます。アドラー流の未来志向・楽観志向の考え方から新しい生き方が見つかるかもしれません。

『女性アスリートの教科書』（須永美歌子著、主婦の友社、2018年）

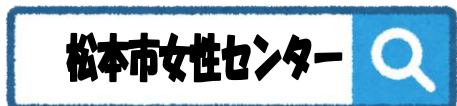
男性選手中心に考えられてきたスポーツの指導法。しかし、女性選手には女性の体特有の仕組みを考慮したトレーニングやケアが必要だと筆者は訴えます。

ご自分や身近な人がスポーツをする・しないに関わらず、“女性の健康は皆に関係する事柄”として、知っておいて損はないと思います。



この通信は、松本市公式ホームページでも見ることができます

Facebook もやっています！



＜編集・発行＞

松本市 人権共生課（松本市女性センター）

〒390-0811

松本市中央 1-18-1 Mウイング3階

TEL 0263-39-1105 /FAX 0263-37-1153